

学びを支える「指導と評価」

～授業改善のための具体的手立て～



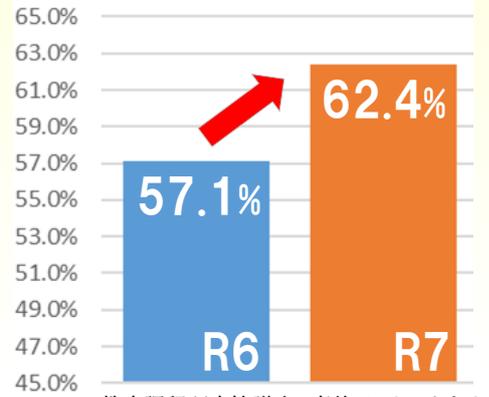
各校で、研修が実施されています。

評価規準に照らして子どもの学習状況を見取り、
価値付けや助言をするなど、
教師の指導改善につなげている。



- (64校) 教育課程研究協議会の伝達を通じた研修
- (38校) 校内のリーダーが作成した通信等を通じた研修
- (74校) 公開授業等、実践を通じた研修
- (12校) その他

※令和7年度：第2回学力向上・指導改善推進会議アンケート(95校)による集計値。
※括弧内は延べ数。



教育課程研究協議会 事後アンケートより

▼ 令和7年度“推進訪問”にて配付した資料

導入,展開,終末の各場面において、取組のポイントを示しています。

東濃教育事務所

LOOK! 「指導と評価の一体化」とは

「指導と評価の一体化」とは、児童生徒に身に付けさせたい資質・能力を具体化した到達目標に向けて、教師は、実態に応じて指導を工夫し、指導した結果を児童生徒の姿で評価する。そして、評価したことを次の指導の改善に生かす。さらに新たな指導の成果を評価する。このように、児童生徒の学習改善、教師の指導改善につながるよう、指導と評価を繰り返す営みが「指導と評価の一体化」です。「指導と評価の一体化」を図っていく上で、まずは、「何ができたか(まる)か」という単元(題材)で身に付けさせたい資質・能力を捉え、そして、それはどんな児童生徒の姿になるのかを具体化することが大切です。



POINT 単元(題材)を通した「指導と評価の一体化」

一単元時間の授業はそれ単体で独立したのではなく、単元(題材)全体の連なりの中にあるものです。児童生徒にとっても授業は連続性の高いもので、単元(題材)の中で学んだ内容を結び付け、身に付けたい資質・能力を育てていきます。

したがって、指導する側は単元(題材)を通して、児童生徒の変容を促したり、捉えたりしながら、形成的評価を積み重ねていく必要があります。

一単元時間ごとに指導を振り返り、実態把握に努めますが、その際に、一単元時間ごとを「点」の学習時間として捉えるのではなく、学習状況を累積的に捉え、見届ける方法を工夫すると、よりよい児童生徒理解につながっていきます。



POINT 指導しきる授業を

目標に基づく「確かな学力」が身に付く授業を目指します。そのためには、次の2つの場で「指導と評価の一体化」を大切にします。

- 指導の場** 【児童生徒とのやり取りを想定した教師の出場】
学習状況や実態を見取ることは、児童生徒に寄り添うことにつながります。事前に児童生徒とのやり取りを想定し、その反応を見届けた直後に、その子にあった支援を行います。
- 見届ける場** 【思う存分に思考・判断・表現ができる場】
同じ事象を見ていても、個々の見方・感じ方や習熟度は異なります。児童生徒一人一人が、自ら考え、話したり、書いたりするなどの表現する場を積極的に位置付けましょう。

POINT 各教科等における単元時間の「指導と評価の一体化」

資質・能力を身に付けた単元(題材)終末の児童生徒の姿を具体的に描き切り、その単元終末と連動させ、児童生徒の願いをせた課題設定と課題解決のための方法と見通しをもたせましょう。

社会 具体的な資料(事実)から、児童生徒の思考の流れをイメージし、課題意識につながる導入を考えましょう。	生活 一人一人に自分の願いをもたせ、どんな願いをもって活動しようとしているかを、把握しましょう。	音楽 題材を通して身に付けさせたい資質・能力と、本時との関連を吟味して、子どもたちに提示する課題を考えましょう。
体育・保健体育 課題提示において、学習内容を確実に身に付けることができるよう個に応じた段階的な練習方法を具体的に示しましょう。	総合的な学習の時間 児童生徒の考えと「すれ」や対象への「驚れ」を感じる出合わせ方を工夫し、課題・探究サイクルを児童生徒のものにしましょう。	特別支援 一人一人の特性に合わせて、課題解決までの見通しをもたせ、学びに向かう姿が持続できるようにしましょう。

予想・期待する目の前の児童生徒の具体的な反応や姿を描き、促し・価値付け・方向付ける多様な手立てや発問を具体的に考えましょう。

国語 その言葉があることの良さや言葉・表現・構成の意図等、言葉による見方・考え方を働かせて思考する発問を吟味しましょう。	理科 観察・実験を行う際は、どんなつまづきが起こりそうかを事前に想定し、それに対する手立てを考えておきましょう。
家庭・技術・家庭 学びの自覚を促す指導や見方・考え方を働かせている姿の価値付け・構構への問いを、意図して行いましょう。	外国語活動・外国語 中間指導(交流)で指導したことができていないかを確認し、再度指導するようにしましょう。

指導したことを評価するために、ねらって評価材料を取りに行く働きかけや活動を仕組み、変化や伸びをメタ認知できるように工夫をし、次時につなぐ評価をやりきりましょう。

算数・数学 仲間の解き方や説明を聞いて理解したことを「自分でやってみる・説明してみる」時間を十分に取ります。	図工・美術 自己の変容を実感するために、造形的な視点で振り返りを行うことができるよう、ワークシートの文言を工夫しましょう。
特別の教科 道徳 道徳的価値について理解を基に、これまでの自分の生き方を見つめられるよう評価の視点を明確にして発問をしましょう。	特別活動 活動の結果だけでなく活動の過程における児童生徒の努力や意欲、児童生徒のよさを実感できる振り返りを工夫しましょう。

令和7年度、東濃地区で見られた取組内容をもとに、
授業例を紹介します!
→ 次のページへ



導入場面

「課題づくり」と「見通し」

社会

具体的な資料(事実)から、児童生徒の思考の流れをイメージし、課題意識につながる導入を考えましょう。

小学3年生:「地域の安全を守る働き」

【資料】① 119番通報を受けてから、出動するまでに、消防署ではたくさんの方が行われている。

② 出動までに要する時間は、平均2分30秒

※異なる事象を提示して、「～なのに、どうして」という問いにつなげる。

たくさんやることがあるのに、どうしてこんなに早いのかな？

こんなにやることが多いのに、どうして消防士の人は早く出動することができるのだろう。

どんな工夫があるのだろう？

見学したメモを読みながら、工夫を探してみよう。

課題

総合的な学習の時間

小学6年生:「ふるさとの魅力を考える」

これまで地域の職場の方の話を通して、地域の魅力を知ることができました。

対象に対する問題意識の「ずれ」や対象への「憧れ」を感じる出合わせ方を工夫し、課題・探究サイクルを児童生徒のものにしましょう。

他町から移住してきた方を紹介します。こんなことをしてみえますよ。

農業・民宿・森づくり…

※これまでの学習における、児童の願いとつなげている。

※単元終末のねらい達成に向け、今後何をするとよいか把握できるよう助言する。

他の方のお話も聞いてみたい。

※これまでの学習における、児童の願いとつなげている。

- どんな質問をすれば地域の魅力を知ることができるかな。
- 会って話が聞けるかな。
- 聞きたいことを、まとめる必要があるね。

生活

一人一人に自分の願いをもたせ、どんな願いをもって活動しようとしているかを、把握しましょう。

(ICT活用) 小学2年生:「自然や物を使った遊び・遊びの工夫」

前時:写真とパワーアップさせたい内容を提出している。

〇〇さんは、△△という願いをもって今日の活動に向かうよ。みんなはどうか？



今日どんな活動にしたいか、ペアの子に話してみましょう。

私は…したい。

- ※児童の発達段階を考慮したICTの活用で、児童の願いを把握している。
- ※自分の願いをペアに話すことで、本時の目標を明確にできるようにしている。

一人一人の特性に合わせて、課題解決までの見通しをもたせ、学びに向かう姿が持続できるようにしましょう。

特別支援

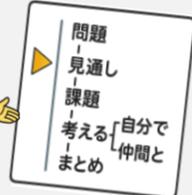
・自立活動・各教科

今日の自立活動はみんなで協力して〇〇をやるよ。

まず、ルールを確認するよ。次に△△を…

【手順を確認する】

早くやりたいけれど、まずはルールを確認してからやってみよう。自分は仲間を応援することをがんばろう。



【見通しを可視化する】

- ※学習の流れ・解決の方法に見通しをもつことで、安心して学習に向かうことができる。
- ※教科ごとに基本的な学習展開が決まっていると、自分で学習を進めることができる。

音楽

題材を通して身に付けさせたい資質・能力と、本時との関連を吟味して、児童生徒に提示する課題を考えましょう。

小学4年生:「音の重なり(ファランドール)」

本題材において思考判断のよりどころとなる音楽を形作っている要素

音の重なり

前時まで学習した「王の行進」と「馬のダンス」の旋律の特徴について確認する。

課題 「王の行進」と「馬のダンス」のせりつが重なるおもしろさって何だろう。

- ※課題の中には、本題材で思考判断のよりどころとしている「音の重なり」にかかわって、「音が重なっていることによるおもしろさ」について考えられるようにしたい。
- ※「音の重なり」のみについて考えなくてもいいのではなく、「音の重なり」を思考判断のよりどころとしながら、いろいろな良さについて考えたり感じ取ったりすることが大切である。

体育・保健体育

中学1・2年生:「ダンス」

課題提示において、学習内容を確実に身に付けることができるよう個に応じた段階的な練習方法等を具体的に示しましょう。

さらにカッコイイダンスにするために、練習を工夫して行い完成度をアップさせよう。(思考・判断)

【例示】

振り付けで不安な箇所があるならば、スロー動画を見ながら通して練習だね。

..を身に付けたいから、練習の方法は…

【根拠を問う】

どの練習を選んだのかな？どうして？

- ※思考・判断の根拠を問い、確認することで、具体的な練習の場面を生徒がイメージでき、目的意識を明確にして活動し、思考・判断の力を確実に身に付けられるようにする。

展開場面

促し・価値付け・方向付ける

国語

その言葉があることの良さや言葉・表現・構成の意図等、言葉による見方・考え方を働かせて思考する発問を吟味しましょう。

小学5年生:「登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。(大造じいさんとガン)」

発問

「がんの英雄と言っているけど、これまでの場面では何と呼んでいたかな。言葉を比べて考えてみよう。」

発問

「らんまんとさいたスモモの花が～はらはらと散りました」の情景描写の一文がなぜあるのだろう。

「1場面では「たかが鳥」、3場面では「残雪め」と言っていて、恨みや上から目線の気持ちだったが、「がんの英雄」と呼び方が変わってきているし、「英雄」を辞書で調べると～意味だから、すごい鳥と認める気持ちに変わっている。」

「はらはら」の意味を調べると物や涙が落ちる様子とあるから、この一文は大造じいさんの残雪との別れを悲しみ、寂しい気持ちを表している。前半の同等の立場と認め、大切な存在という気持ちとつなげると、より別れが寂しい気持ちになっている。」

※呼び方の言葉3つを比べ、意味を辞書で調べると、気持ちを広く捉えることができている。

※情景描写に着目し、この一文があることを前半の読みとつなげながら考える読み方を獲得しながら、気持ちを深く捉えることができている。

観察、実験を行う際は、どんなつまずきが起こりそうかを事前に想定し、それに対する手立てを考えておきましょう。

理科

中学1年生:「力のはたらき」

つまずきの想定

ばねののびの値が妥当かどうかを検討せずに実験している生徒がいるのでは？それでは、実験結果をもとに考察できないぞ。

手立て

実験前の発問

「ばねにつるすおもりを増やしていくと、ばねののびはどうなっていくと思う？」
「おもりの数とばねののびは、何か規則性があるのかな？」

実験中の声掛け

「実験結果は、予想通りになったかな？」
「ばねののびのどの値から、課題に対する結論は言えそうかな？」

※実験の事実と課題に対する結論を結び付けて考察できるように、課題解決の見通しをもたせている。

家庭、技術・家庭

学びの自覚を促す指導や見方・考え方を働かせている姿の価値付け・根拠への問いを、意図して行いましょう。

学びの自覚を促す

中学3年生:計測・制御システム

「ねらい通りの動作ができたね。ところで…」

「最初のプログラムから改良したところはどこかな？」

「プログラムのこの部分に分岐処理を加えました。これで、人感センサが蛇口のレバーを下げた時の手の位置に反応して、ブザーが鳴り止むようになりました。」

※デバッグによって修正が可能となり、動作が実現したことで変容を実感できている。

価値付け・根拠への問い

「温度センサに反応した動作ができるようになったね。今、課題となっていることは、フローチャート(図)でいうとどこなんだろう？」

「あとは設定した温度に達したら、動作が止まるようにしたいのだけど…」
「この設定って、反復処理の前にしないといけないんじゃないかな。」

※価値付けとともに、解決策の根拠を明らかにするために、図を基にすることによって、思考を視覚し、整理しやすくしている。

中間指導(交流)で指導したことができているかを確実に見届け、できていない場合は、再度指導するようにしましょう。

外国語活動、外国語

中学3年生:「話すこと」

【言語活動の目的】自分が「理想とする人」の魅力を知ってもらい、興味をもってもらおうこと。

※中間交流前後 10～15分

I think he is cool because he sings well.
I want you to listen to his songs.

表現のどんなところがすばらしいですか。

指導

「どんなところがカッコイイか具体的にだし、みんなにも聞いてもらいたいと勧めているところがすばらしいです。」

学びを生かす

※交流等の場で仲間の表現のよさを理解し、自分の表現に取り入れることができている。

…I think he is cool because he plays volleyball very well.
I want you to watch his games.

算数、数学

仲間の解き方や説明を聞いて理解したことを「自分でやってみる・説明してみる」時間を十分に取らしましょう。

※授業終末 10～15分

小学4年生：「四則に関して成り立つ性質」

まとめ 計算のやくそくに注目することで求め方を一つの式に表すことができたり、どのように考えたかを読み取ったりできる。

まず、NEW! GIFU ウェブラーニングの“今日のもんだい”をやしましょう。

早く終わった子は、チャレンジ問題や、練習問題に取り組みましょう。



色々な問題に取り組んで、今日の学習内容が身に付いているか確かめよう。

本時の内容が身に付いたかどうかを“今日のもんだい”の◇問目の問題を中心に見届けよう。



自分の理解度に合わせて問題に取り組んだり、復習したりするよ。

- ※「この問題で見届ける」と決め、時間内に全ての児童の様子を見届け、指導の必要な児童に寄り添い“指導しきる”につなげている。
- ※授業前に終末の見届け問題を検討することで、本時のねらいの焦点化と学習過程の工夫につなげている。(終末の時間確保につながる)

図工、美術

自己の変容を実感するために、造形的な視点で振り返りを行うことができるよう、ワークシート of 文言を工夫しましょう。

中学3年生：「表現(自画像)」

- 主題に向かってうまくいっているか
- そう感じる理由は何か
 - ・色や形などから?
 - ・色や形などから感じるイメージなどから?
- この後の追求、改善の見通しはあるか



夢に向かって頑張る自分を表すために、今日は暖色を使って力がみなぎっているように描きました。しかし、全体がぼけた感じになってイメージとずれています。先生からの助言も参考にして、次回は寒色を入れてコントラストをつけて、全体を引き締めていきたいです。



タブレット端末を利用して自分の作品を毎時間写真に残し制作の過程、変容を確認する。

- ※主題に向かって児童生徒が制作を進めているかを確認する。
- ※主題に向かってうまく進めていない児童生徒が、改善の見通しがあるかどうかで、教師の指導や支援を見直す。
- ※児童生徒の制作過程の記録写真を確認し、主題と照らし合わせながら、指導や支援を行う。

特別の教科 道徳

道徳的諸価値についての理解を基に、これまでの自分の生き方を見つめられるよう評価の視点で明確にして発問をしましょう。

小学3年生：「内容項目 A-(2) 正直・誠実」
過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること

【評価の視点】

自身の経験や考えを振り返りながら、正直であることについて自己を見つめている。

*展開後段 10分

発問

「正直に話せてよかったこと、なかなか話せてなくてもやもやしたことはありますか。そのことを今思うとどうですか。」

私は、家で味噌汁をこぼしてしまって、ナフキンが汚れてしまったことがありました。その時、お母さんに怒られるかもしれないから内緒にしておこうと思ったけれど、もはやもやした気持ちでした。そのままの気持ちでいるのが嫌で、お母さんに正直に言うことができて良かったです。



- ※主人公の気持ちや言動から捉えた道徳的価値について理解したことを基に、自己の生活を振り返り、正直に言えてよかったことを再認識することができている。

特別活動

中学1・2・3年生

活動の結果だけでなく活動の過程における児童生徒の努力や意欲、児童生徒のよさを実感できる振り返りを工夫しましょう。

行事の中間振り返り → 合意形成



「○○さんは、自分の不安な気持ちも本音で話していましたね。きっと学級の仲間が受け止めてくれるという安心があったからでしょう。だからこそ、皆で決めた▲と◆のことは全員で実行していきましょう。」

- ※意欲的な発言、仲間のかかわりのよさ、両者をつなぐまとめを価値付け、明日からの実践意欲につなげる。

自己の成長及び健康安全 → 意思決定

「◎◎さんは、『□□を～～する』という具体的なめあてに決めましたね。これは、BさんCさんらの～～という考えを生かして決めていましたね。きっと上手いくよ。皆さんも、自分で決めめあてを、明日から早速取り組んでいきましょう。」



- ※意思決定した発言のよさが、本時の話し合いを生かしたのになっていることを価値付け、明日からの実践意欲につなげている。